

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>	ドイツ語II A D2114 Intermediate German A				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 南 剛			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	木5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>大学で外国語を学ぶ実用は、必要となったときに辞書をひきつつ文献を読むことができる能力をやしなうことである。ドイツ語を読むことができる基本的能力をやしなうことを、この授業の最大の目的とする。音読重視(基礎習得の近道)。</p> <p>現代ドイツの時事文を教材とし、その読解を手がかりにして、西欧近代、および現代のヨーロッパと日本についての考察を深める。</p>									
[到達目標]									
<p>やや進んだドイツ語のテキストを辞書を引きながら読めるようになることを目標とする。</p> <p>(i) 実力を伸ばすための初歩の段階における有効な方法として、音読および簡単な会話を修得する。</p> <p>(ii) 現代日本社会のあり方に大きな影響を及ぼしている西欧近代というものを理解する。</p> <p>(iii) 社会的議論の能力を育成する。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>教科書 はリライトされた平易な教材であることから解説時間を節約して前期は第7章まで(1・2・5・6・7章)とし、毎時後半30分は教科書の輪読に振りむける。</p> <p>ガイダンスおよび内田特別回、試験・フィードバックを含め授業回数は全16回。</p>									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
学期末試験(50%)および平常点(50%)に基づく。									
[教科書]									
<p>アンドレア・ラープ 『時事ドイツ語2018年度版』(朝日出版社) ISBN:978-4-255-25414-2</p> <p>内田義彦 『資本論の世界』(岩波新書) ISBN:4-00-411069-6</p> <p>廣松渉 『今こそマルクスを読み返す』(講談社現代新書) ISBN:4-06-149001-X</p>									
[参考書等]									
(参考書)									
<p>吉本隆明 『カール・マルクス』(光文社文庫) ISBN:4-33-474042-1</p> <p>熊野純彦 『西洋哲学史全2冊』(岩波新書) ISBN:4-00-431007-5, 4-00-431008-3</p>									
[授業外学修(予習・復習)等]									
授業中に指示する									
[その他(オフィスアワー等)]									
<p>教室の入り口近くの机にA4の用紙を置いておくので、トイレを含めて出入りの都度、「氏名/時刻/入・出の別/遅刻早退(入出)を生じた理由」を1行で収まるよう書き込むこと。受講にふさわしくない態度・行為をとった者は即時に退室させる。</p>									